

第1四半期 決算説明資料(連結) (2014年6月期)

2013年11月11日
株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現

2Q(累計) : 第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

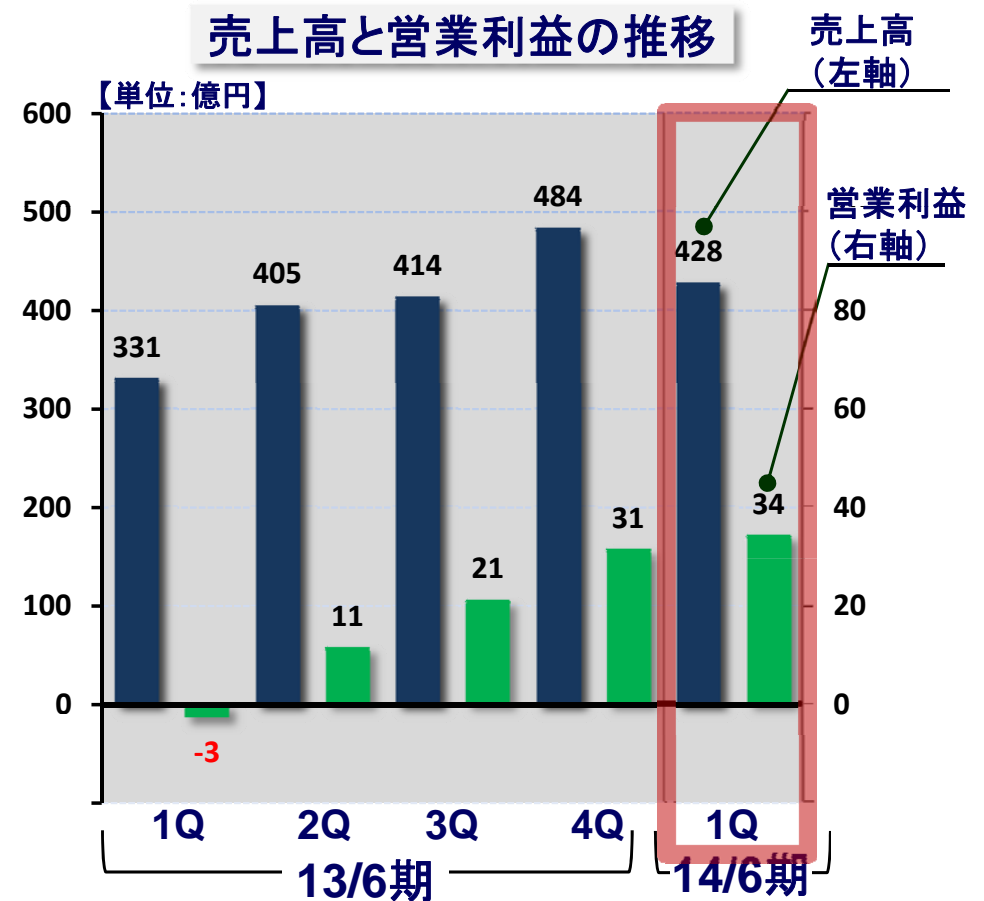
1Q(2014/6期)業績

受注高は、メモリ関連の半導体設備投資が回復したものの、FPD関連は一時的に投資が低調だったため、前年同期比11%減少。売上高は、FPD関連などが寄与し、前年同期比で30%増加。営業利益は、コスト削減により、利益率が前年同期比で大幅に改善。

【単位:億円】

	2013/6期	2014/6期実績	
	1Q	1Q	前年同期比 (増減率)
受注高	420	374	-11.0%
受注残高	728	670	—
売上高	331	428	29.5%
売上総利益	75	106	41.6%
率	22.6%	24.8%	
販管費	78	72	-6
営業利益	-3	34	黒字転換
率	-0.9%	8.0%	
経常利益	-10	40	黒字転換
率	-3.1%	9.3%	
四半期純利益	-15	33	黒字転換
率	-4.6%	7.8%	

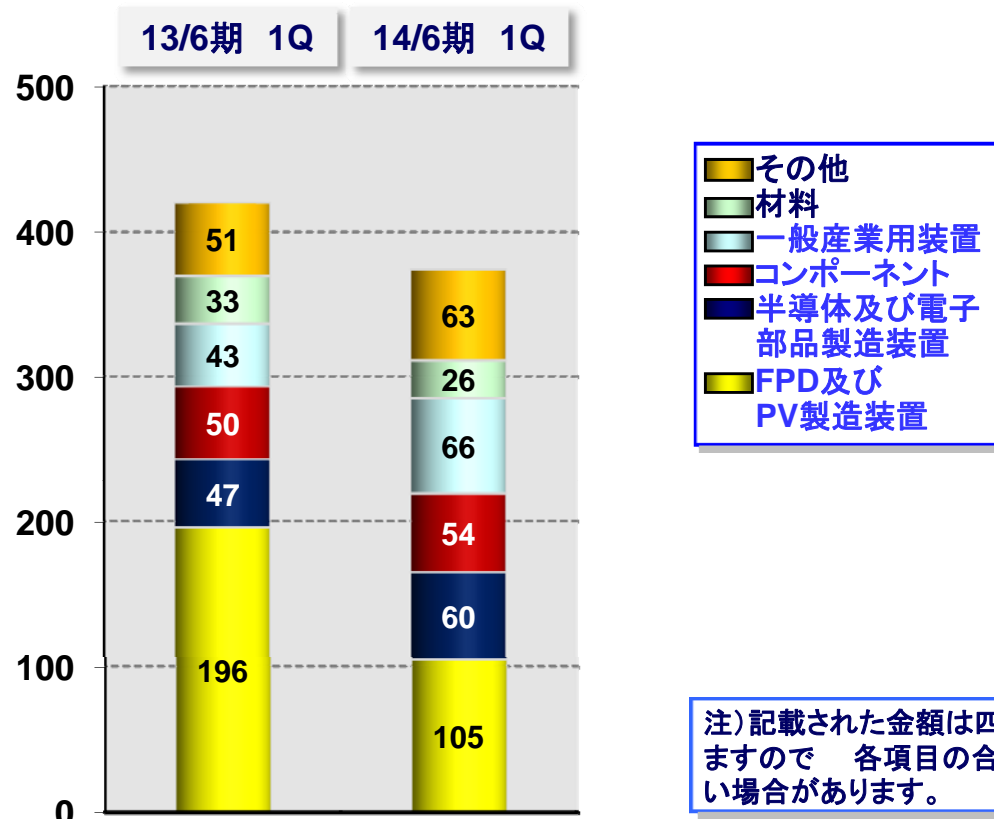
売上高と営業利益の推移



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別受注高実績(前年同期比)

受注高は、メモリ関連の半導体及び電子部品製造装置や医薬・自動車関連の一般産業用装置が前年同期比で増加。
 FPD製造装置は前年同期比で減少。



注)記載された金額は四捨五入しておりますので 各項目の合計値が一致しない場合があります。

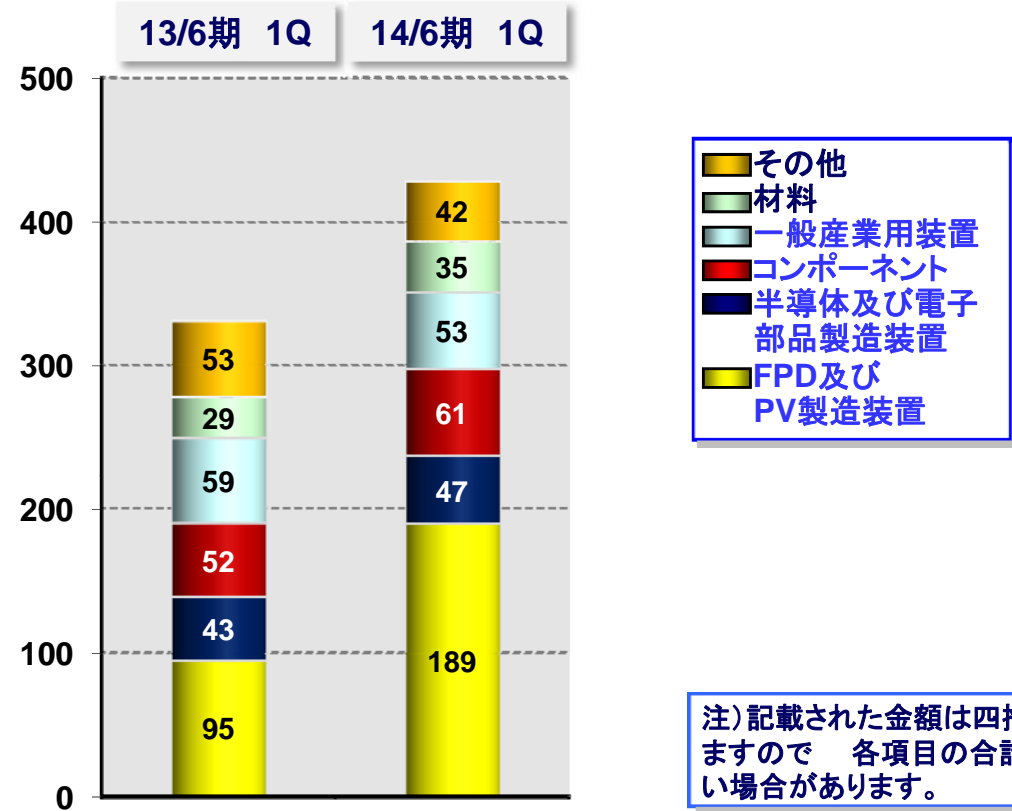
【単位:億円】

13/6期 1Q		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	336	80%
FPD及びPV製造装置	196	47%
半導体及び電子部品製造装置	47	11%
コンポーネント	50	12%
一般産業用装置	43	10%
真空応用事業	84	20%
材料	33	8%
その他	51	12%
合計	420	100%

14/6期 1Q			前年同期比 (増減率)
セグメント	受注高	構成比	
真空機器事業	285	76%	-15%
FPD及びPV製造装置	105	28%	-46%
半導体及び電子部品製造装置	60	16%	28%
コンポーネント	54	14%	7%
一般産業用装置	66	18%	52%
真空応用事業	89	24%	6%
材料	26	7%	-21%
その他	63	17%	24%
合計	374	100%	-11%

品目別売上高実績(前年同期比)

売上高は、前年同期比で、低温ポリシリコンや次世代ディスプレイの有機EL関連のFPD製造装置が約2倍に増加した。



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので 各項目の合計値が一致しない場合があります。

【単位:億円】

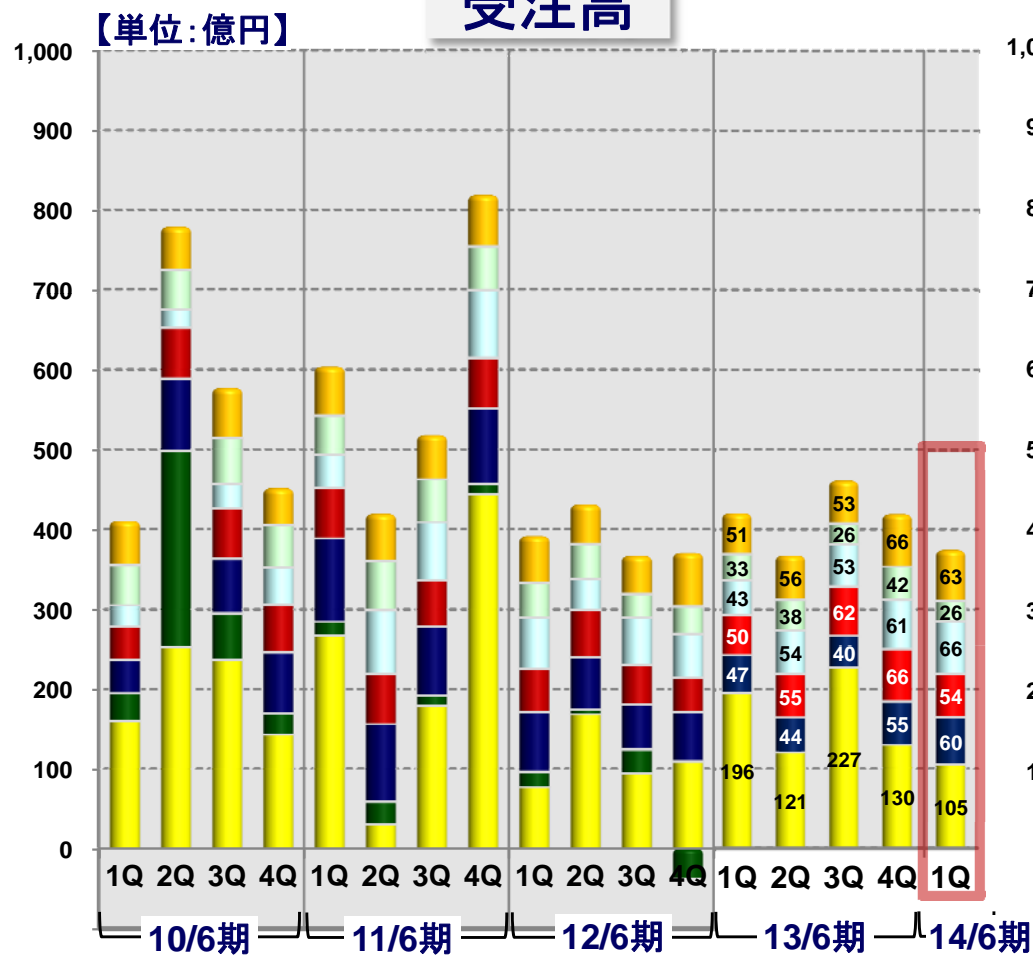
13/6期 1Q		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	249	75%
FPD及びPV製造装置	95	29%
半導体及び電子部品製造装置	43	13%
コンポーネント	52	16%
一般産業用装置	59	18%
真空応用事業	82	25%
材料	29	9%
その他	53	16%
合計	331	100%

14/6期 1Q			前年同期比 (増減率)
セグメント	売上高	構成比	
真空機器事業	351	82%	41%
FPD及びPV製造装置	189	44%	99%
半導体及び電子部品製造装置	47	11%	9%
コンポーネント	61	14%	18%
一般産業用装置	53	12%	-9%
真空応用事業	77	18%	-6%
材料	35	8%	23%
その他	42	10%	-21%
合計	428	100%	30%

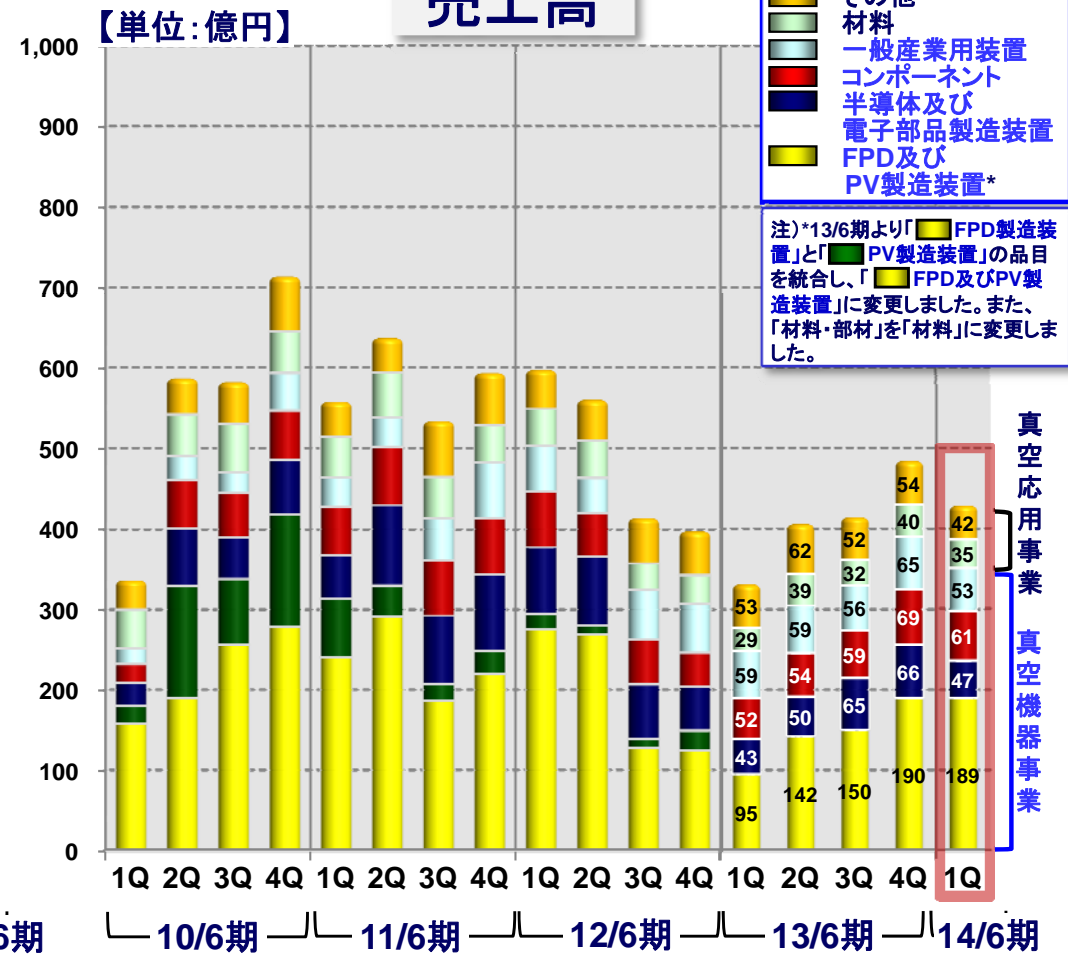
品目別受注高・売上高(四半期)の推移

受注高は、半導体及び電子部品製造装置が前Q比で増加、FPD関連は一時的に投資が低調だったため、前Q比で減少。売上高は、半導体及び電子部品製造装置が前Q比で減少。

受注高



売上高



その他
 材料
 一般産業用装置
 コンポーネント
 半導体及び電子部品製造装置
 FPD及びPV製造装置*

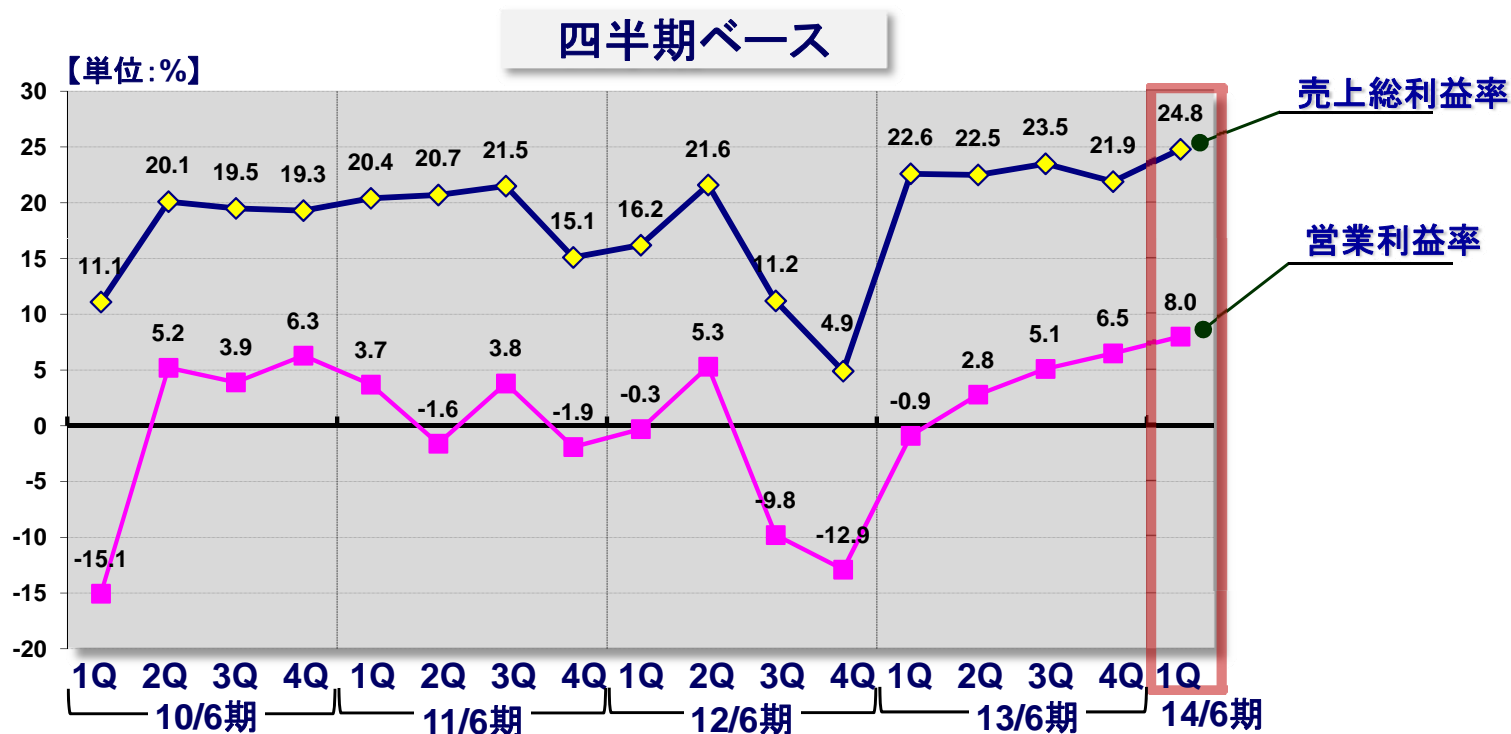
注)*13/6期より「FPD製造装置」と「PV製造装置」の品目を統合し、「FPD及びPV製造装置」に変更しました。また、「材料・部材」を「材料」に変更しました。

真空応用事業
真空機器事業

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

利益率(四半期)の推移

グループ全体でのコスト削減効果などで、売上総利益率、営業利益率とも前年同期比、前Q比で改善した。



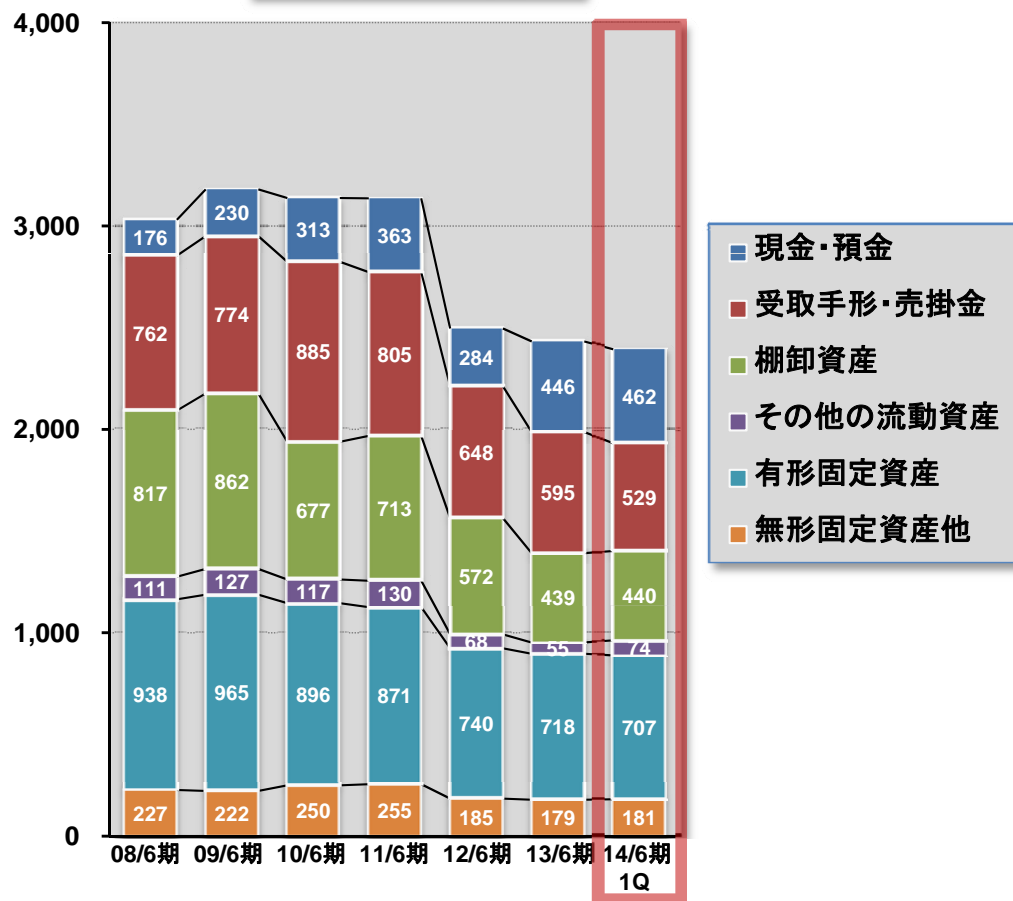
【小数点以下第2位は四捨五入】

連結貸借対照表

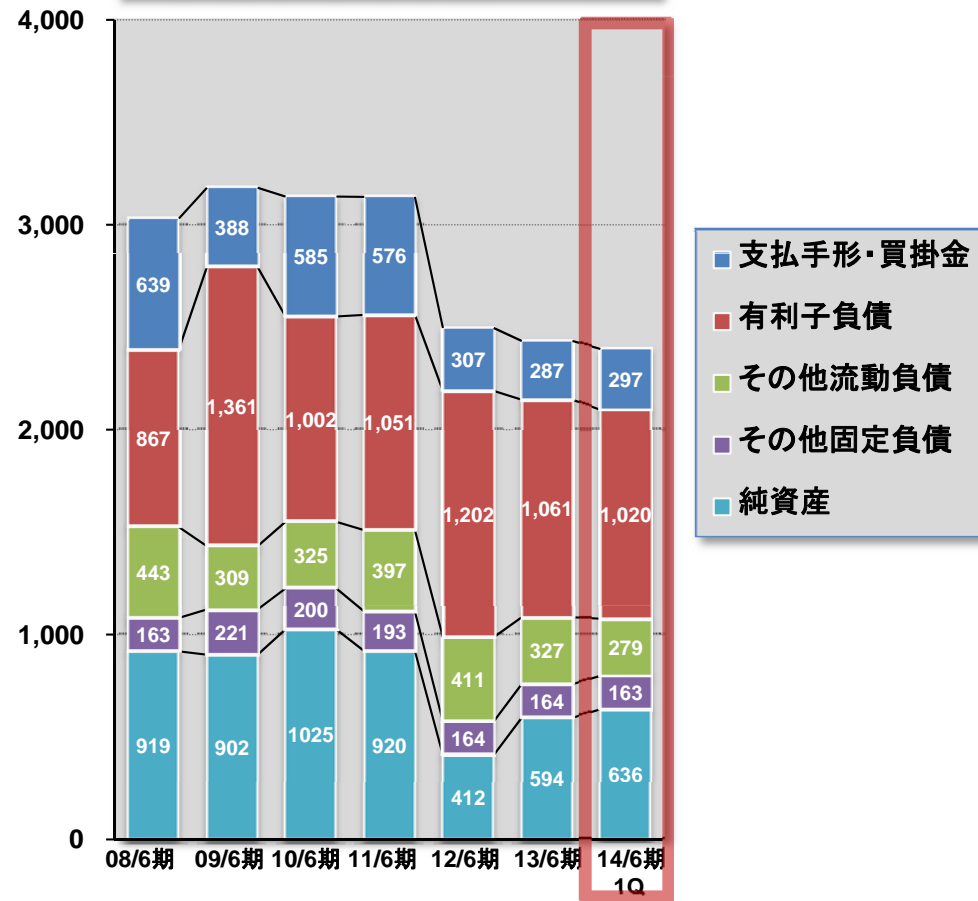
資産は、受取手形・売掛金が66億円減。負債は、有利子負債が42億円減。純資産は、利益剰余金が33億円増。

資産の部

【単位：億円】



負債・純資産の部

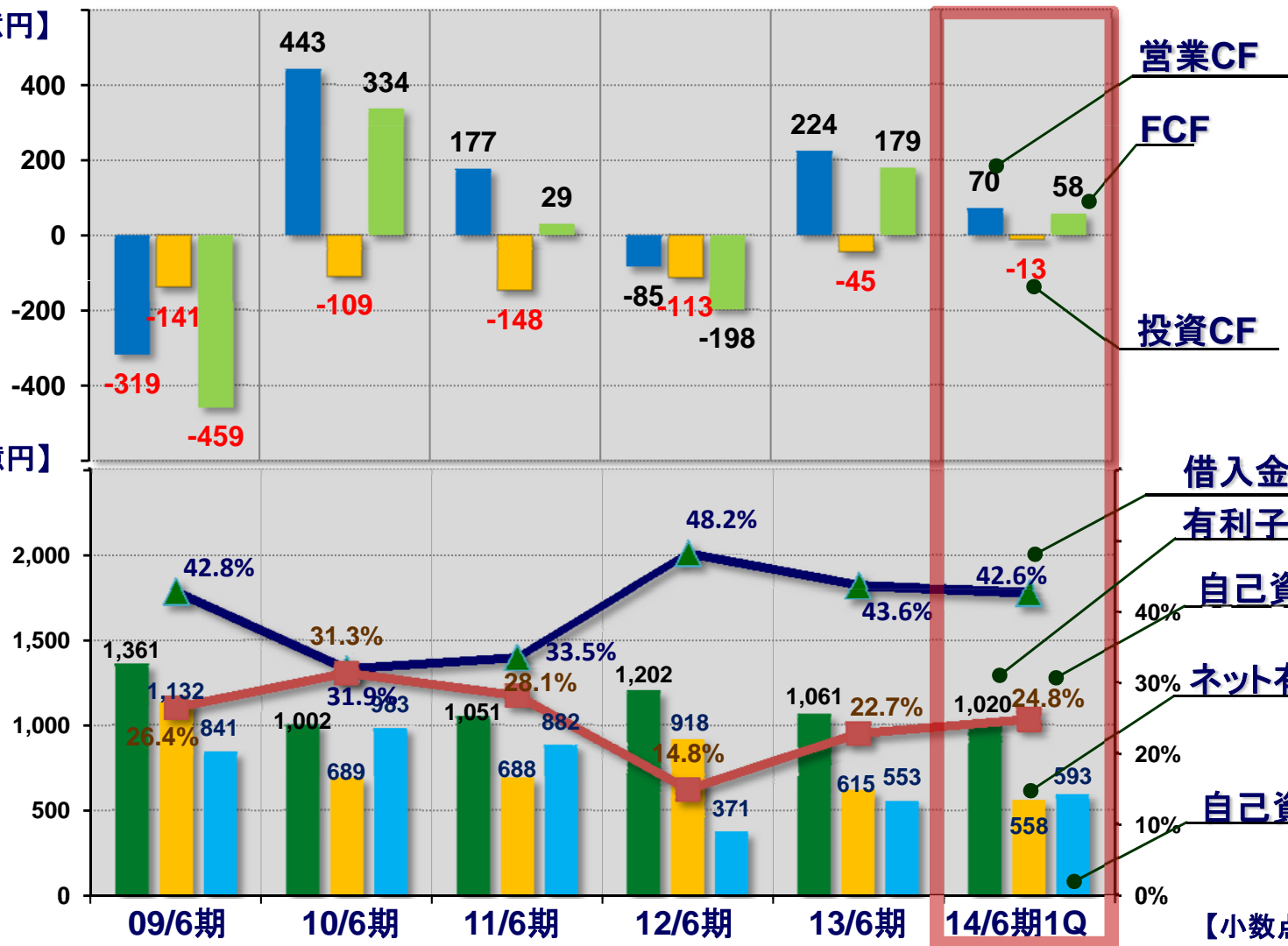


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

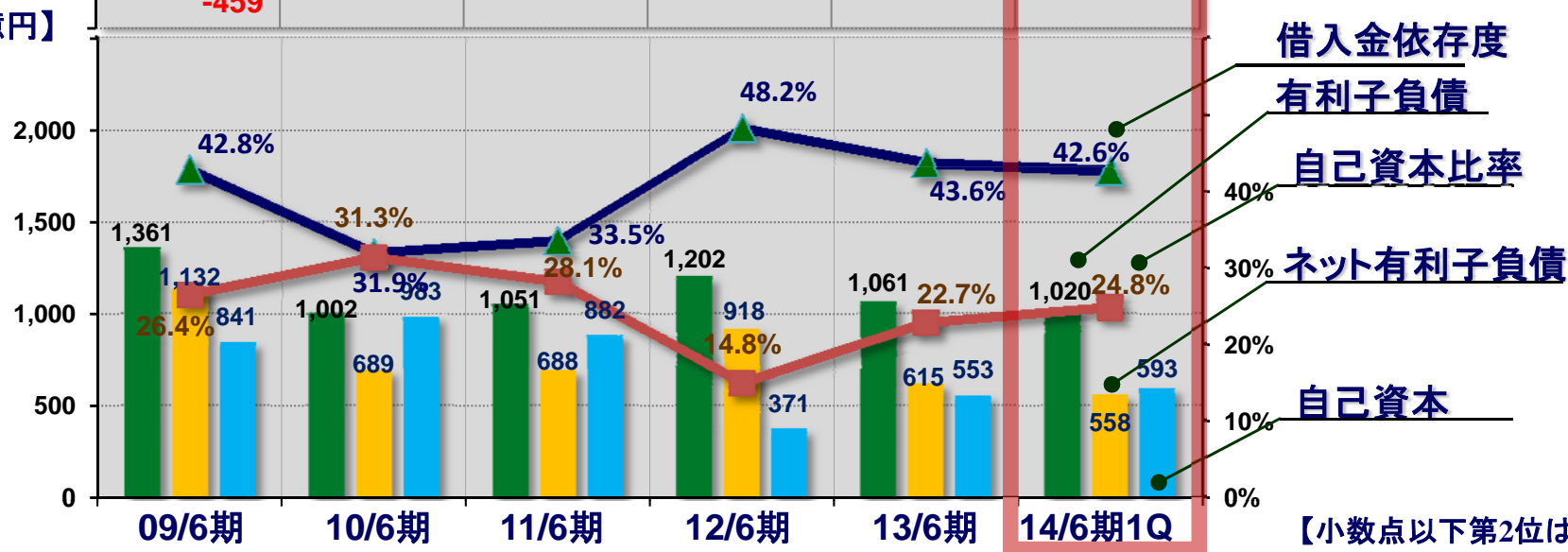
キャッシュ・フローと有利子負債の推移

税前四半期純利益、運転資金の圧縮等で営業CF+70億円を計上。投資CFは△13億円、FCFは+58億円となった。結果、ネット有利子負債を558億円にまで圧縮。

【単位：億円】



【単位：億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】

2014/6期通期業績予想

売上高通期予想は前回予想通り。FPD業界等の設備投資動向に不透明さが残ることから、営業利益、経常利益とも前回通期予想値の変更なし。

【単位:億円】

	(参考) 13/6期 実績	14/6期予想			
		2Q(累計)		通期予想	
		前回予想 (8/13)	修正予想	前回予想 (8/13)	修正予想
売上高	1,634	860 (+17%)	860 (+17%)	1,800 (+10%)	1,800 (+10%)
営業利益	61 —	36 (+316%)	55 (+536%)	90 (+47%)	90 (+47%)
率	3.7%	4.2%	6.4%	5.0%	5.0%
経常利益	63 —	25 (+306%)	50 (+712%)	70 (+12%)	70 (+12%)
率	3.8%	2.9%	5.8%	3.9%	3.9%
当期(四半期) 純利益	-38	10	45	40	50
率	—	1.2%	5.2%	2.2%	2.8%

【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

■1Q実績

- ▶受注高は、半導体及び電子部品製造装置で、メモリ関連の設備投資が再開したことなどにより前年同期比、前Q比で増加。FPD製造装置は設備投資が慎重であったことで前年同期比、前Q比で減少。
- ▶利益は、主にFPD製造装置関連のコスト削減が寄与し、売上総利益率、営業利益率が前年同期比、前Q比で改善。

■2Q(累計)業績予想

- ▶売上高は、前回予想通り。営業利益、経常利益は利益率改善等から、また四半期純利益はこれに加え、連結子会社株式の一部譲渡に伴う特別利益を計上予定であること(2013年10月28日公表)等から、それぞれ予想値を上回る見込み。

■通期業績予想

- ▶FPD業界の設備投資動向に不透明さが残ること等から、売上高、営業利益、経常利益とも前回予想の変更はなし。
当期純利益は、上記特別利益を計上予定で前回予想を修正。

ULVAC

